

# 土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名 主要地方道呉環状線 災害実施設計書作成に伴う業務委託

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象 道路 構造物基礎

ボーリング名	H30-Br-2	調査位置	広島県呉市焼山町地先	北緯	34° 17' 39.14"
発注機関	広島県西部建設事務所呉支所	調査期間	2019年 2月 14日 ~ 2019年 2月 19日	東経	132° 32' 1.40"
調査業者名		主任技師		現場代理人	
コア鑑定者		ボーリング責任者			
孔口標高	T.P. 97.29m	角	180° 上下 90° 0°	方位	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南
地盤勾配		鉛直	90°	水平	0°
使用機種	東邦地下工機製 D1-B	試験機	東邦地下工機製 D1-B	エンジン	YANMAR製 NFD12
ポンプ	東邦地下工機製 BG-3B				
総削孔長	13.00m				

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記述	孔内水位 / 測定月日	標準貫入試験						試験採取番号	室内位置試験	削孔月日		
												深度-N値図		N値	100mmごとの打撃回数	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量				自沈時の貫入量	
1				盛土・砂礫		暗青灰 / 茶褐灰 / 暗褐灰				0.00~0.47mまでアスファルト。これより0.46mまで砂石。 0.60mに木片を含む。 2.55mまで暗青灰の緻密堅硬岩主体の礫~砂礫を主体とする。 3.55mまで砂礫。 3mのベネ試料には泥分目立つ。 この間は水つき環境の堆積物ではなく盛土材と判定。	02/19 4.98	7	1.15	2	2	3	7	300			2/14	
2				砂礫						河川堆積物。礫混じり砂~砂礫状を呈する。 3.68~3.65m有機質シルト質砂。		9	2.15	2	4	3	9	300			2/15	
3	93.74	3.55		砂礫								5	3.15	2	2	1	5	300				
4	92.99	4.30		玉石混じり砂礫		茶褐 / 淡桃灰				φ200~650mmの玉石を主体とする。 (一見岩盤様を呈する) 玉石間に砂礫を介在する。		100	4.15	8	12	50	50	150	150			
5				砂礫								750	5.00	50	20	50	20	20				
6				砂礫								75	6.15	36	14	50	200	200				
7				砂礫								750	7.15	50	30	50	20	20				
8	89.39	7.90		砂礫						7.9~8.0m土砂状を呈する。		75	8.15	21	29	50	200	200				
9	89.29	8.00		花崗岩		淡褐灰 / 淡桃灰				軟岩。9.36mまでD級の強風化花崗岩。 ~砂土化が著しく、8.6~8.9mは一部粘土化目立つ。 9.85mまでC1級の風化花崗岩。 一部、片状、棒状コアを残すが、これ以外は指圧で細かく割れる。 割れ目に沿って薄い粘土質を附着する。		500	8.35	50	30	50	30	30				
10				花崗岩								500	9.15	50	30	50	30	30				
11				花崗岩								100	10.00	50	30	50	30	30				
12				花崗岩						中硬岩。CII~B級の花崗岩。 上部はハンマーの打撃音やや濁音。下部は軽い金属音を発する。 ほぼ20~60cmの棒状コアの連続。 40'前後の亀裂が多い。		100	10.00	50	30	50	30	30				
13	84.29	13.00		花崗岩								100	10.00	50	30	50	30	30				